柴田 英里 議員
無会派

問 駅周辺の活性化を
答 賑わい創出に取り組む

問 近鉄弥富駅南口「駅前ポケットパーク」の利活用の考えは。

答 建設部長 駅周辺の賑わい創出に繋げる。

問 ポケットパークの電気設備の考えは。

答 施設改修やルールづくり等が必要。

問 地域づくり補助金は継続するのか。

答 市民生活部長 令和７年度から課題解決と地域貢献の２種類になる。

問 企業からの協賛を募ってイベントを開催することは可能か。

答 不足の場合は地域づくり補助金を利用。

問 更にグレードアップしたイルミネーションにしては。

答 建設部長 商工会へ要望していく。

問 イルミネーション時にクリスマスイベントを開催しては。

答 開催場所の提供などで協力。

問 バレンタインの※１アムール・デュ・ショコラのようなイベントを本市に誘致してみては。

答 ハードルが高いイベントと認識。

問 「やとみ青空市週間」の運営はどのように変更したのか。

答 各種団体・企業へ貸す方式に変更、４月14日から27日まで２週間開催。

問 ネット情報発信「※２ロークル」を本市も取り入れてみては。

答 総務部長 参加を見送る。市政情報の発信を強化。

※１ 世界中のショコラが集まる日本最大級のチョコレートの祭典
※２ ローカル（地域）とサークル（循環）を組み合わせた造語アプリ

▲地域づくり補助金

問 ハラスメントへの対応は
答 複数の職員で組織的に対応する

問 庁舎内のハラスメントの現状は。

答 総務部長 実態調査はしていないが、基本方針を定めて対応している。

問 市民からの職員に対するカスタマーハラスメント（カスハラ）は。

答 把握はしていないが、困難事例は組織で対応。

問 小中学校のカスハラ実態調査は。

答 教育部長 実施していない。

問 カスハラに対応するマニュアル作成、職員研修は。

答 総務部長 必要性はある。近隣市町村を注視。顧問弁護士による研修は実施している。

問 中小企業に義務化されたパワーハラスメント防止措置の対応は。

答 建設部長 周知し、事業主へ防止を呼びかける。

問 商工会でも周知しては。

答 商工会のホームページに掲載するよう要望。

問 カスハラによる体調不良者はいるか。

答 総務部長 定義がなく把握していない。

問 今後のカスハラ対策は。

答 名札に記載する情報の見直しから取り組む。